

平成12年度第3回熊本県環境影響評価審査会 議 事 概 要

日時：平成13年3月30日（金）午前10時～午前11時10分

場所：県庁新館 2F「多目的AV会議室」

出席者

環境影響評価審査会：今江会長、内山委員、江端委員、園田委員、西岡委員、弘田委員、藤木委員、堀委員 以上8名（他 オブザーバー 林委員、松本委員、吉田委員）

事務局：環境政策課6名（田中、古庄、真田、増田、野白、矢野）

アセス実施者：都市計画課 渡辺審議員、平山主任技師

議題

一般国道3号（南九州西回り自動車道）芦北出水道路（水俣IC～県境間）に係る環境影響評価方法書について

議事内容

- 1 挨拶
- 2 事業及び環境アセスメントの概要について
- 3 審査会意見（案）について
（別紙審査会意見（案））
- 4 主な質疑内容
次ページ以降のとおり
- 5 その他
次回以降の審査会の日程調整

配付資料

- 1 会議次第
- 2 一般国道3号（南九州西回り自動車道）芦北出水道路（水俣IC～県境間）環境影響評価方法書
- 3 同上に対する熊本県環境影響評価審査会意見（案）
- 4 同上事業に係るパンフレット及び事業概要

[主な質疑内容]

審査会意見（案）に関する事項

1 大気質

特になし

2 騒音

【委員発言1：意見として述べてあることだが、新幹線騒音と道路交通騒音が重なると影響は大きくなると思うが、騒音については、新幹線や道路など騒音基準はそれぞれあり、それぞれで評価するとなっている。複合的影響の評価は、実際には難しいと思うが、一応こういうことを想定してやって欲しい。】

【委員発言2：両者の騒音をどのように換算するのかといった点などは、まだ研究が進んでいない。学術的にこうだという予測がつけば、そういう指摘をするのだが。】

【委員発言3：正式な答えが出るということだけでなく、どういうことが起こり得るだろうかという検討を行ってもらえたらと思う。】

3 低周波音

【委員発言4：橋りょうで低周波音が出るところはまれだが、可能性があるところを想定してあらかじめ対策ができればということである。既存の事例というのはほとんどが出ないというものなので、既存の事例だけを踏まえて良しとしても、正当に評価できない場合があるということを念頭に置いて、安全サイドに立ち検討して欲しいという趣旨。】

4 水環境

【委員発言5：水の濁りの選定項目が、工事中道路しかない。切土、盛土、トンネル工事もあるので、これも項目に加えるべきである。】

5 地形・地質

【委員発言6：この断層については、現地視察のとき、事業者は承知しており、工事のとき配慮するとのことだったが、方法書を作成するときに既に分かっていることは示すべきである。準備書では分かるように書いて説明して欲しい。】

6 土壌汚染

特になし

7 日照障害

特になし

8 動物・植物

【委員発言7：事業予定地及びその周辺地域に生息しないような動物が記載されていたりしている。現地調査でこういったものがあるならば、はっきりさせて欲しい。】

【委員発言 8 : 「主なもの」の選定基準をきちんとし、どういう物差しで選んだか分かる形にして欲しい。】

9 生態系

【委員発言 9 : 海の生態系について項目から削除する場合には、その理由を納得できるように記述する必要がある。海への影響を軽く考えて大きな問題を起こした水俣病の教訓を忘れてはならない。】

10 景観

特になし

11 建設工事に伴う副産物

【委員発言 10 : これは水俣市では前例がある。道路工事の廃土捨て場に予定された「無田湿原」が、貴重な自然であることから保全することになり、その後、市の天然記念物に指定され、近く県自然環境保全地域に指定される予定である。工事中の処分土砂の廃棄場所には十分注意すべきである。】

12 文化財

特になし

13 その他

【委員発言 11 : 分かりやすいアセス図書を作成することが重要である。素人が読んで分る準備書になるように心がけて欲しい。】

総論的に

【委員発言 12 : 現在、新幹線工事が行われているが、新幹線工事等の結果何か影響や障害があったということが出てきた場合には、その項目については、特に考慮すべきではないかと思う。】

【委員発言 13 : 周辺地域については色々記載があるが、改変地域に関する調査が曖昧なところがある。具体的・詳細にすべきである。動植物の調査は、一番適切な時期や場所を選んで行う必要がある。】

【委員発言 14 : 行政の予算の執行関係もあるのか、春の時期が抜けがちになるので注意すること。】

【委員発言 15 : トンネルは一方通行と相互通行では大気への影響に違いがある。当初は相互通行であるが、将来的に一方通行になるのであれば、逆転層の問題もあり、局所気象に十分配慮して欲しい。】

(工事中の切土等による水の濁りと適切な動植物の調査時期、調査地点の検討に関することを審査会意見に加えることとなる。)